

# 感動詞のマルチモーダル的な記述に向けて

-中国語天津方言の「ei」を例に-

羅希（中山大學）

キーワード：感動詞、意味記述、マルチモーダル、認知プロセス

本研究は、マルチモーダルの方法を取り入れた天津方言の「ei」の意味記述を試み、マルチモーダルの方法が感動詞の記述的研究に大変有益であることを示したい。従来の現代中国語の「普通話」と各方言において、上昇調の感動詞「ei」には「呼びかけ」「発見・想起」といった2つの用法があると論じられてきたが、本研究は、会話の観察を通じて、その2つの用法以外、「思考を伴う承認」の「ei」も存在することを発見した。また、本研究は、感動詞は「私たちが身に任せる行動の流れの型」（定延 2005 : 39）という観点に賛同し、「感動詞は『言う』ものではなく、『する』ものである」と考える。そのため、会話場面の「ei」を記述する際に、前後の言語的な文脈だけでなく、発話時の身体動作も視野に入れて総合的に分析する。さらに、独り言の場面で発せられる「ei」を内省的に考察し、出現傾向と制限をまとめた上で、「ei」の意味記述を行う。